

平成 25 年（2013 年） 2 月那覇市議会定例会

代表質問発言通告書（ 1 日目）

平成 25 年 2 月 25 日（月）

割当時間(答弁を除く)

自民・無所属・改革の会 55 分
自 民 党 新 風 会 45 分

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	唐 真 弘 安 (自民・無所属 ・改革の会)	1 普天間差別 問題及びオス プレイ差別問 題について	(1) 発言をする前に断言しておくが、私は保守主義者であり日米安保賛成、自衛隊賛成、日米同盟深化大賛成議員である。このことを前提として以下質問をする 普天間差別問題を見ると、昨今は仲井真知事が限りなく「普天間県内移設反対」に近い表現で頑張っておられるし、県議会では何回も全会一致で決議され、沖縄県内 41 市町村長そろって反対を表明し、41 市町村議会すべてにおいて決議された。これが真実としたら、主権在民、民主主義の手続きを沖縄県民が心をひとつにして達成した。沖縄戦後政治史に見ることのなかった県民思想や精神の尊い到達点のほかの何物でもないと評価するものである 2003 年 11 月、当時のラムズフェルド米国国防長官が普天間飛行場上空から視察した際、市街地のど真ん中に現存する信じられない飛行場のありさまを見て「これは世界一危険な飛行場だ」と思わずつぶやいたとされる 私たち沖縄県民はご案内のように去った 1 月 27 日、世界一危険な飛行場へ世界一危険なオスプレイ配備撤回を求めて沖縄県内全市町村長とすべての市町村議会議長が県民大会実行委員会の代表ともどもそろって上京し日比谷で 4,000 人集会を開催し、集会後、参加者は銀座など約 2 キロを行進しオスプレイ反対を訴えた。このことは前代未聞のことである この大会からあと 2 日で 1 カ月経過する間、建白書を受けた総理大臣ほか関係大臣が次々沖縄訪問をし、「普天間を辺野古へ是非」と繰り返し言い寄ってくる。この根っこの深さは何であろうか、市長の見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		2 那覇軍港問題について	(2) 沖縄県民はここで万策尽きたと言って休んではいけないと存ずる。翁長市長の指導力で直接民主主義の最後の手段として、沖縄の正当な要求を実現するため「オスプレイ反対」「普天間県内移設反対」の是非を問う県民投票を実現しようと提言する。市長の答弁を伺う 念のため憲法第95条は「一つの地方公共団体のみに適用される特別法は、法律の定めるところにより、その地方公共団体の住民の投票においてその過半数の同意を得なければ、国会はこれを制定することができない」とある (3) 国際政治学者の宮里政玄先生は、「米国では沖縄の基地過重負担について、沖縄はやはり大変だという考え方の理解が高まっている。日本政府としても沖縄を差別し、基地を押しつけて犠牲にしていることを外国に知れることは外交上良くない。特に米国から見れば沖縄を少数民族として犠牲にし、0.6%の国土に74%の米軍基地を置いているのはどう見ても筋が通らない。このことをアメリカ本土にアピールすることは大きな意味がある」と発言している さらには「沖縄の差別の実態を米国新聞に意見広告として掲載することは大きな意味がある」と元外務省主任分析官でお母様が久米島出身の作家佐藤優先生も主張されている この意味において、翁長市長の指導力をもって、米本国への働きかけ等を提言する。答弁をお願いします 那覇軍港は17年前の1996年日米特別行動委員会(SACO)の最終報告で米軍牧港補給地区の沖合に35ヘクタールの規模で移設すると合意した。那覇軍港は17年間、那覇市の発展に大きく貢献することなく死んだように1センチも動いていないように見えるが、那覇軍港の最近の実情について以下伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(1) ひところは 999 人であったが、軍用地主は 何人か (2) 地主に年間支払われる軍用地料は幾らか (3) 軍港が返還されて民間経済活動が発生す ると、経済効果は幾らの予想で、幾らの雇用 か計算できるのか (4) 昨今の浦添市長選のあと、那覇軍港につい て那覇市長と浦添市長と沖縄県知事との立 ち位置が微妙であり、全市民が注目してい る。この 3 者のありようについて説明を求め る
			【答弁を求める者】 市長

代表質問（１日目） 平成 25 年 2 月 25 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	仲 松 寛 (自民・無所属 ・改革の会)	1 市長の政治 姿勢について	安倍新政権への市長見解について 昨年末の第 46 回衆議院総選挙の結果、3 年 3 カ月続いた民主党政権から自民党、公明党の連立からなる安倍政権へと政権が変わった。安倍政権発足直後、これまでの円高、株安のデフレ傾向から円安、株高傾向へと経済、金融市場は大きく動いた。これは、新政権への期待と安倍政権の掲げる経済、金融政策、アベノミクスといわれる「財政出動」「金融緩和」「成長戦略」という「三本の矢」が長期のデフレを脱却し、名目経済成長率 3 %を目標とする政策が市場へカンフル的作用を促したものであると言われる 「財政出動」の総額は 20 兆円で、そのうち平成 24 年度補正予算は 13.1 兆円で公共事業に重点を置いた超大型補正予算となっている。「金融緩和」はインフレターゲット（物価上昇率目標）を 2 %に設定しており、日銀への政策協調を強めている。「成長戦略」は研究開発・イノベーション創出を促進し、省エネルギー、再生可能エネルギー、新ビジネス等を主眼においたものである。緊縮財政下の再配分を重点においていた民主党の財政政策から一転して、大型財政出動となっている。については次の事項について伺う (1) 安倍新政権の経済・金融政策、アベノミクスの評価について市長の見解を伺う (2) 安倍新政権の沖縄政策について市長の見解を伺う
		2 財政について	(1) 平成 25 年度那覇市一般会計予算について 平成 25 年度予算案は一般会計予算 1,280 億 8 千 8 百万円で対前年度比 24 億 6,500 万円の伸び率で 2 %となっている。については次の事項について伺う ① 平成 25 年度当初予算案の歳出、歳入の特徴と重点施策はどのようなになっているか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			② 市債の状況と今後の見通し及びその対策（減債基金の積み上げ）について伺う (2) 沖縄振興特別推進交付金事業（沖縄振興一括交付金）について 平成 24 年度は「沖縄 21 世紀ビジョン基本計画」の初年度で本県の当初予算は復帰後最大の総額 6,807 億円でそのうち、新しく創設された沖縄振興一括交付金は公共投資交付金約 771 億円、ソフト分野の沖縄振興特別推進交付金 803 億円、トータル 1,575 億円で那覇市には総額 52 億 7 千万円が交付された。については次の事項について伺う ① 本市における平成 24 年度沖縄振興特別推進交付金事業の執行状況について伺う ② 本市における平成 25 年度沖縄振興特別推進交付金事業の予算額及び事業内容について伺う
		3 公共施設の整備について	地域公共施設の整備（支所の建て替え等）に関する取り組みについて 那覇市新総合庁舎は、分散していた新都心銘苅庁舎、教育委員会等を統合した総合庁舎として、市民サービスや事務効率の向上、防災機能を備えた総工費 89 億円の立派な建物である。この立派な庁舎とは対照的に支所の老朽化は深刻であり、地域公共施設整備が急がれる。については次の事項について伺う (1) 建て替えが急がれる小禄支所及び真和志支所の建て替え計画はどのようなになっているか伺う (2) 真和志地域の公共施設整備についてはどのようなになっているか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 民生について	生活保護について 厚生労働省の調べによると 2012 年 11 月の生活保護受給者数は 214 万 7,303 人で、受給世帯数は 156 万 7,797 世帯となり過去最多となっている。内訳は高齢者世帯が 68 万 236 世帯、けがや病気の人世帯が 29 万 7,848 世帯、働ける世代を含むその他は 28 万 7,968 世帯である 安倍新政権は生活費に当たる生活扶助の基準を本年度から 3 年間で 670 億円削減する方針を示している。ついては、生活保護について次の事項を伺う (1) 沖縄県及び本市の生活保護受給者数及び世帯数、生活保護費、内訳はどのようになっているか伺う (2) 生活保護の過大過小支給問題の概要とその対応について伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問（１日目） 平成 25 年 2 月 25 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	久 高 友 弘 (自民・無所属 ・改革の会)	1 龍潭の管理 運営について 2 弁ヶ嶽の大 嶽小嶽の復元 について 3 御茶屋御殿 の復元につい て 4 観光行政に ついて	(1) 平成 3 年から 1 年間にわたり龍潭がしゅんせつされたが、その目的と意義を伺う (2) 現在、地域住民や県民、観光客にどのように活用されているか伺う (1) 前回質問してから 10 年の歳月が流れている。復元が遅れている理由を伺う (2) 一括交付金で復元できないか伺う (1) 御茶屋御殿ワーキンググループの目的は何か伺う (2) 平成 18 年（2006 年）12 月 25 日に御茶屋御殿の早期復元・整備を求める意見書を那覇市議会で決議した。それを受けて「意見書実現のためのご尽力方について」というお願いの文書が那覇市議会久高将光議長から翁長市長はじめ政府に対し送付された その後、国土交通省に冬柴鐵 三国土交通大臣を訪ね、御茶屋御殿を国直轄事業によって早急に復元、整備するよう要請したということだが、その時の大臣及び政府側の対応を伺う (3) 一括交付金による御茶屋御殿の発掘調査について伺う (4) 一括交付金による御茶屋御殿の早期復元について伺う (5) 茶亭部分の一部先行指定で、御茶屋御殿の早期復元が可能か伺う (1) 観光と地域活性化に関する調査特別委員会からの提言や要望が提出された場合、行政サイドでどう実現するつもりか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(2) 文化財の復元（御茶屋御殿及び弁ヶ嶽）が 観光振興にどう役立つか、見解を伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（１日目） 平成 25 年 2 月 25 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	渡久地 政 作 (自 民 党 新 風 会)	1 沖縄振興特別推進交付金（ソフト交付金）について	(1) 沖縄振興という大きな視点から一括交付金についての制度評価と実績（成果）を伺う ① 沖縄振興におけるソフト交付金の果たす役割とは何か ② 制度初年度となった平成 24 年度的那覇市の取り組みとその成果について伺う ③ 平成 25 年度のソフト交付金の活用について伺う (2) 那覇市内観光周遊バス実証実験事業について ① 実証実験はいつから始まり、どのような結果をみて終了するのか ② 事業の対象は市内滞在観光客及び市民とあるが、市内滞在のみの観光客、また市民が利用できると考えてよいか ③ 那覇市観光協会が実施している「まちま～い事業」との連携とあるが、具体的な連携内容の説明を求める (3) 市魚マグロ等水産物流通支援事業について ① 平成22年 8 月17日に市の魚に「マグロ」が制定されたが、市民にはなぜマグロになったのか理解がされていない。再度、市の魚をマグロに制定した根拠を伺う ② 平成 23 年度より事業がスタートしているが、24 年度の活動実績と成果を伺う ③ 今後の方向性として、市の魚「マグロ」の周知活動以外の取り組みはどのように考えているのか、当局の見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		2 生活保護行政について 3 奥武山陸上競技場、サッカー場建設について	公表された生活保護の過大支給、過小支給について、その原因と再発防止について以下何う (1) 経緯と原因 (2) 過大支給、過小支給の対象となった保護受給者への対応 (3) 再発防止策について 本員も含め、多くの議員からもこれまで質問のあった陸上競技場を併設したＪリーグの公式戦の開催が可能なサッカー場の建設について、施政方針にも建設に向けた全体計画を策定して整備を進めるとある。市長の方針を何う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問（１日目） 平成 25 年 2 月 25 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	山城 誠 司 (自民党新風会)	1 那覇軍港について 2 中核市移行に伴う屋外広告物条例の制定について 3 自動二輪車駐車場整備について	那覇軍港は 1996 年の S A C O (日米特別行動委員会)において、米軍牧港補給地区の沖合いに移設することで合意しているが、移設作業があと何年かかるか見通しが立たない状況にある そのような中、翁長市長は、昨今「移設と切り離して考えるべきだ」また「移設条件つきはもう現実的ではない」と強調しているが、今後の返還見通しはあるのか。また返還後の計画はどのように考えているのか伺う 現在那覇市の屋外広告物は、沖縄県屋外広告物条例の適用を受けているわけだが、その詳細については市民全般に周知徹底されているとは思えない そのような状況において、今回の中核市移行に伴って那覇市に業務が移譲され、去る12月定例会で議決されたわけだが、その内容について伺う (1) 国土交通省の通達で公共的活動に要する費用へ広告収入を充当できる等の規制緩和をしているが、那覇市の考え方及び他都市の状況を伺う (2) 条例中に「適用除外」の事項があるが、上記の件を一部改正できないか伺う 自動二輪車駐車場の整備については、4 年程前から議会でも取り上げられてきたが、一向に解決されず放置状態であると言わざるを得ない。その間バイクユーザーは那覇市に毎年多額の市税を納税し続け、駐車違反取り締りにおいても駐車場が無いために多額の反則金を徴収され続けている 現在、那覇市は5万台のバイク保有市民がおります。行政の責任で駐車場を整備しなければならないと本員は考える。このような中、今後の計画について伺う (1) 新庁舎開設に伴うコミュニティ道路(泉崎7号)に自動二輪車駐車場の計画はどのようなになっているか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(2) 中心市街地、特に国際通り周辺の整備は早急に改善する必要があると思われるが、市の見解を伺う (3) モノレール駅、特におもろまち駅・県庁前駅の2駅の駐車実態は早急に改善する必要があると思うが市の見解を伺う
		4 公園行政について	緑ヶ丘公園、国場ビル（久茂地）向かいの美栄橋公園について整備計画及び中心市街地の公園再生計画の進捗状況を伺う
		5 まちづくり拠点施設整備事業について	銘苅庁舎跡に「インキュベート施設」、「市民との協働の拠点施設」を予定しているが、スケジュール及びどのようなことが期待できるか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問（１日目） 平成 25 年 2 月 25 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	平 良 仁 一 (自 民 党 新 風 会)	1 小禄支所建て替について 2 新庁舎について 3 経済観光部の特色ある事業について 4 道路行政（街路樹）について	(1) 建て替えに関する現在の取り組み状況について伺う (2) 建て替え場所はどのように考えているのか伺う (3) 今後の取り組みとスケジュールについて伺う (1) 新庁舎に対する市民からの評価を伺う (2) 駐車場に対する利用市民の反応はどうか伺う (3) 昇降機（エレベーター）に対する市民の反応はどうか伺う 特色ある事業に、「ワッター野菜がジョートーサー事業」というのがあるが、その事業について以下伺う (1) 那覇の伝統野菜とあるが、何を根拠にして伝統野菜としているのか、またどんな伝統野菜があるのか伺う (2) その伝統野菜を保存し、普及させるためにどのような支援事業を実施しているのか。また今後どのような支援を計画しているのか伺う (1) 街路樹の樹種の選定はどのような方法で選定しているのか伺う (2) 街路樹の維持管理はどのように行われているのか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(3) 街路樹が枯れたり、台風被害等で無い所があるが、どのような対応をしているのか伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長